

低損失交流電子負荷装置



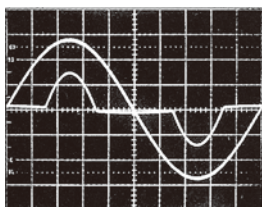
交流電源や電力機器の負荷試験で使用していた抵抗やインダクタ、キャパシタ、擬似回路網などに代わる電子負荷装置です。「電力回生回路」と「スイッチング方式の電力増幅器」を採用し、システムの試験電力と発熱量を大幅に低減できます。

本器は、UPS 負荷試験や太陽光発電インバータ負荷試験に最適です。

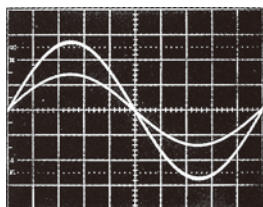
特長

- 抵抗モード、定電流モードの二つの動作モード
- 電流波形を任意に設定して高調波電流などの非線形負荷をシミュレート
- 電流の位相設定が可能
- 交流、直流で動作
- 電力回生で消費エネルギーを低減
- マスタ・スレーブ動作により三相接続（△結線、Y結線）が可能
- 最大4台までのブースタの接続が可能
- 外部インターフェースにより試験の自動化に対応

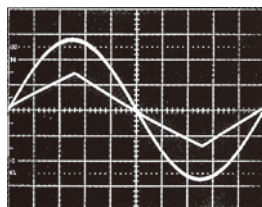
波形例



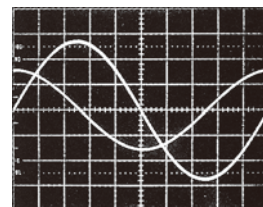
▲ 任意波形 (コンデンサ入力整流波形)



▲ 正弦波 位相0度



▲ 三角波



▲ 正弦波 位相90度(進み)